

平成30年度「福井ふるさと元気宣言」推進に係る政策合意の実施結果
(平成31年3月末現在)

「福井ふるさと元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成30年4月に知事と合意した「政策合意」の実施結果について、次のとおり報告します。

平成31年3月

産業労働部長 安倍 暢宏

| 項 目 | 実 施 結 果 |
|--|--|
| <p>1 革新と創造で伸びゆく福井の企業 ◇福井発の「ローカル産業革命」 ○産業革新の一貫システム【共同研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済に大きな波及効果が見込める研究開発を加速させるため、「ふくいオープンイノベーション推進機構」において、大企業との連携を強化し、新たな共同研究プロジェクトを進めます。 (平成29年度 累計46件) <p style="text-align: center;">共同研究プロジェクト数 15件増 累計61件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人材確保支援センター」を4月に福井商工会議所内に設置し、高齢者・女性など多様な人材が活躍できる職場づくりのアドバイスや、県内企業と県外大学との面談会の開催など、企業による人材確保の取組みを支援します。 チャレンジ施策 | <p>[成果等] 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>「ふくいオープンイノベーション推進機構」における産学官金共同開発において、大企業との連携強化を行い、炭素繊維を活用した自動車部材の開発や次世代眼鏡の超小型光源の量産技術の開発など、新たな共同研究プロジェクト16件を進めました。</p> <p style="text-align: center;">共同研究プロジェクト数 16件増 累計62件</p> <p>「人材確保支援センター」を4月に福井商工会議所内に設置し、企業における採用活動や高齢者・女性などの多様な人材が活躍できる職場づくり・業務改善など、1,010件の企業からの人材確保に関する課題解決の相談に対応しました。 また、県内企業と県外大学との面談会を3回開催(36校、48社参加)、採用力向上や多様な人材の活躍を促す企業向けセミナーを12回開催(736社、897名参加)し、採用活動の強化につなげました。</p> |

| 項目 | 実施結果 |
|---|---|
| <p>・「福井ものづくり改善インストラクタースクール」により、生産現場における在庫管理の効率化などの業務改善指導ができる人材を養成します。また、養成した人材を県内ものづくり企業へ派遣し、業務改善指導を実施することにより、労働生産性の向上を図ります。</p> <p>(平成29年度 累計28人)</p> <p style="text-align: right;">スクール修了生人数 15人増 累計43人</p> | <p>カリキュラムや講師派遣等について東京大学と連携し、第3期「福井ものづくり改善インストラクタースクール」を9月に開講しました。</p> <p>生産現場における納期・工程・在庫管理の効率化など、18日間、126時間(座学63時間、現場実習63時間)の講義を実施し、県内ものづくり企業の現場責任者11名、ものづくり企業OB2名を、業務改善指導ができる人材として養成しました。</p> <p>また、スクールで養成した人材を県内ものづくり企業6社に派遣し、業務改善指導を行いました。</p> <p>しかし、深刻な人手不足の状況の中、受講生派遣予定の企業や再雇用による企業OBからの受講辞退があり、目標にはいたりませんでした。</p> <p>今後、「人材確保支援センター」と連携したスクールの周知に加え、県内企業に向けたスクール成果発表会や「シニア人材活躍支援センター」における専門的な技術や知識を持つシニアへの周知を図り、受講を促進します。</p> <p style="text-align: right;">スクール修了生人数 13人増 累計41人</p> |
| <p>○IoT・AI等の活用によるビジネス創出</p> <p>・IoT等の導入による企業の生産性向上やビジネス創出を支援するため、セミナーの開催、課題解決のための専門家チームの派遣、助成や融資による資金支援を行い、企業の競争力強化を図ります。</p> <p>・AIを搭載したコンピュータなど最新機器を利用できる「AIビジネス・オープンラボ(仮称)」を、10月を目途に産業情報センターに設置します。県内大学やIT企業と協力しながら、学生を対象としたプログラミング教室の開催や、企業のIT担当者向けのソフト試作のサポートなど、IT人材の育成を促進します。</p> <p>チャレンジ施策 (平成29年度 -)</p> <p style="text-align: right;">ラボ利用者数 1,000人</p> | <p>[成果等] 目標を上回って達成しました。</p> <p>5月と11月にAIのビジネス活用に関するセミナーを開催したほか、県内6社に専門家チームを派遣し、IoT導入に向けたアドバイスを行いました。</p> <p>また、IoT・AIの導入経費の助成により、3社のAI導入と7社のIoT導入を支援しました。</p> <p>産業情報センター内に「ふくいAIビジネス・オープンラボ」を設置し、AIを活用した画像認識システムや対話ができるコミュニケーションロボット、IoT技術を活用した製造工程の管理システムなど、先進機器の展示・実演を行いました。</p> <p>また、導入効果や活用方法を理解するためのセミナーやプログラミング体験会の開催、課題に応じた導入手法に関する専門家からのアドバイスを行いました。</p> <p style="text-align: right;">ラボ利用者数 2,058人</p> |

| 項目 | 実施結果 |
|---|--|
| <p>○地域連携・業種横断の技術革新</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成32年度(2020年度)の打上げに向け、県民衛星のJAXAロケットへの搭載にかかる申請が早期に採択されるよう、関係省庁およびJAXAへの働きかけを継続します。採択後、速やかに県民衛星の設計・製造に着手します。 県民衛星の製造技術の蓄積に向けて、工業技術センターの環境試験機の利用を促進し、県内外の大学・企業、JAXAとの共同研究等の技術交流につなげます。 本県の宇宙産業を衛星の製造、データ利活用の両面から幅広い分野に拡大するため、炭素繊維など新素材の活用や通信技術、宇宙服などの研究開発を行います。また、防災に使う試作ソフトの実証・改良等を支援し、県内企業の参画を促進します。 (平成29年度 累計51社・団体) <p style="text-align: center;">宇宙産業への県内企業の参入数 4社・団体増 累計55社・団体</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成31年度(2019年度)に開催される「宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)」に向け、本県の宇宙産業振興や科学教育を目的とした、NASA・JAXAへの小中学生の派遣、外国人研究者等の受入整備を進めます。 <p>チャレンジ施策</p> | <p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>県民衛星の打上げについては、JAXAのロケットからロシアのソユーズロケットに変更し、2020年度上半期に打ち上げ時期を早めました。</p> <p>製造については、工業技術センターを拠点として平成31年4月から速やかに着手できるよう、県内企業の体制構築や製造環境整備などの準備を進めました。</p> <p>環境試験機の利用を促進するため、夜間の試験にも対応できる滞在施設を工業技術センター内に整備し、県内企業のほか、県外企業やJAXA等が振動試験機、熱真空試験機、電波暗室を延べ95日間使用しました。</p> <p>また、ルワンダ共和国で使用される超小型人工衛星の製造効率化に向け、東京大学と県内企業4社、工業技術センターが共同研究開発を実施しました。</p> <p>開繊CFRP(炭素繊維強化プラスチック(県特許))を県民衛星の部材として搭載するための研究開発に着手しました。</p> <p>また、衛星と通信するアンテナの設計や宇宙服の試作を行いました。</p> <p>さらに、福井県民衛星技術研究組合が作成した衛星データを利用するシステムの試作版について、県庁内関係10課が試行評価しました。</p> <p style="text-align: center;">宇宙産業への県内企業の参入数 4社・団体増 累計55社・団体</p> <p>8月に小中学生を対象に、「県内宇宙関連企業・施設訪問ツアー」を実施したほか、3月にNASA・JAXAに小中学生を派遣しました。また、10月には「宇宙博inふくい」を開催し、ISTS福井大会や県民衛星プロジェクトを紹介しました。</p> <p>さらに、福井市と協力し、外国人研究者等の受入れに向けて、通訳ボランティア講座を行ったほか、大会会場にWiFi設備を整備しました。</p> |

| 項目 | 実施結果 |
|--|--|
| <p>・業種や県域を越えた企業連携など繊維産業のサプライチェーン強化への支援により、繊維製品の新商品開発や販路拡大等を促進し、売上拡大につなげます。また、県内外ファッション系学校の研修体験により業界を担う若手の人材確保を図ります。 (平成29年度 累計8.3億円)</p> <p style="text-align: center;">売上額 2.7億円増 累計11億円</p> | <p>産地内連携・販路開拓を担当するコーディネーターの主導により、業種を超えた企業連携体による新商品開発を実施しました。また、県域を越えた企業連携体の開発した商品が多くの海外ブランドに採用されるなど、産地の高い技術力が高く評価されました。 研修支援事業では、県外の4つの学校から100名を超える学生・教員を本県に招き、福井産地の高い技術を認知してもらうとともに、平成31年度の就職活動に向けたPRを実施しました。</p> <p style="text-align: center;">売上額 3.2億円増 累計11.5億円</p> |
| <p>・眼鏡や繊維等の技術を活用したウェアラブル製品について、セミナーを通じた人材育成、新商品開発、国内最大級のIoT総合展示会への出展などによる販路開拓支援を行い、県内企業の関連産業への進出を促進します。 (平成29年度 累計57件)</p> <p style="text-align: center;">ウェアラブル関連産業への進出数 23件増 累計80件</p> | <p>「e-テキスタイル製品開発研究会」において、ウェアラブル機器の開発に向けた勉強会を開催したほか、メーカーとのマッチングを進めるため、国内最大級のIoT総合展示会である「CEATEC（シーテック）」に、県内8社の出展を支援しました。</p> <p style="text-align: center;">ウェアラブル関連産業への進出数 25件増 累計82件</p> |
| <p>・医療・介護・健康増進分野の団体の協力を得て設立した「福井しあわせ健康産業協議会」を通じ、ニーズ発掘のための現場見学会等の開催、試作品開発のための助成制度の創設により、製品化を促進します。併せて、首都圏の医療機器メーカー等に向けた展示商談会の開催により、医療関連部品での採用を働きかけ、医療・介護・健康関連ビジネスの拡大を図ります。 (平成29年度 累計36件)</p> <p style="text-align: center;">医療関連の新たな製品化数 12件増 累計48件</p> | <p>「福井しあわせ健康産業協議会」にコーディネーターを配置し、医療・介護分野の現場ニーズと企業のシーズのマッチングや新商品・新サービスの開発支援を行いました。 あわせて、現場見学会等の開催、試作品開発の助成、医療機器メーカーが集積する東京都本郷地区での展示商談会を開催するなど、県内企業の医療・介護・健康関連ビジネスへの参入・拡大を支援しました。</p> <p style="text-align: center;">医療関連の新たな製品化数 12件増 累計48件</p> |

| 項 目 | 実 施 結 果 |
|--|---|
| <p>○世代をつなぐ「職人」技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県がメイン会場となる平成31年度(2019年度)の「国際北陸工芸サミット」開催に向け、伝統工芸産地事業者と国際的なアーティスト等とのコラボレーションや海外向けクラウドファンディングを活用した新商品開発を進めます。 ・サンドーム福井の「ものづくりキャンパス」において、デザインセンターが中心となり、ものづくり企業関係者、伝統工芸職人、デザイナーなど幅広い層に向けて、流通サポートを含めた新ブランド・商品の開発支援や実践的なデザイン講座を開催し、人材を育成します。 ・越前ものづくりの里プロジェクトについては、「伝統工芸職人塾」による後継者育成を継続します。また、産地が連携して伝統工芸の魅力を発信し、観光誘客の拡大を図ります。 (平成29年度 累計93人) <p style="text-align: center;">伝統工芸職人塾生 27人増 累計120人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「越前古窯博物館」において、水野九右衛門コレクションの調査研究や本県ゆかりの岡倉天心を顕彰した茶会を開催します。また、産地や町と連携し、陶芸村の産業観光を進めるなど、越前焼の振興を図ります。 | <p>[成果等] 目標を上回って達成しました。</p> <p>越前和紙と現代のレオナルド・ダ・ヴィンチと称される国際的アーティスト、テオ・ヤンセン氏とのコラボレーション作品が10月に完成しました。 また、伝統工芸5産地から海外向けクラウドファンディングへの出展者を募集し、40品目の新商品を開発するとともに、産地ツアーも含めたプロジェクトを海外向けクラウドファンディングサービス「キックstarter」に掲載しました。</p> <p>「福井ものづくりキャンパス」については、ものづくりに役立つ講座「MONO CAN」を開催し、ものづくりに興味を持つ女性や学生、親子連れなどを対象に伝統工芸の体験教室、展示・販売等を行いました。 また、デザイナーや職人向けに「デザイン基礎講座」を開催し、パッケージデザインやWEBでの情報発信など、商品開発に必要なノウハウを学ぶ場を提供しました。</p> <p>「伝統工芸職人塾」については、今年度計36人(長期19人、短期16人、若狭ものづくりプロジェクト1人)の塾生が各産地の熟練職人から実技指導を受けました。 また、長期塾生に対しては、新商品開発の研修を実施し、福井ものづくりキャンパスでの発表・PRの機会を設けました。(全24回)。 さらに、丹南の伝統工芸産地を中心に開催された工房見学イベント「RENEW2018」にあわせ、産地間を周遊するシャトルバス運行、パンフレット制作等を支援し、来場者38,000人を達成しました。</p> <p style="text-align: center;">伝統工芸職人塾生数 36人増 累計129人</p> <p>「越前古窯博物館」については、裏千家の家元を迎え、郷土の偉人「岡倉天心」に因んだ「天心茶会」を開催しました。 また、水野九右衛門コレクションの研究成果発表として、全4回の「水野コレクション写真展」や開館1周年にあわせた「一挙公開 全部見せます! 水野コレクション」を開催するとともに、開館1周年にあわせ、記念行事を開催し、越前焼をはじめとする県内の伝統的工芸品の展示・販売、体験教室を開催し、魅力の発信につなげました。</p> |

| 項目 | 実施結果 |
|---|---|
| <p>○新福井経済新戦略（仮称）の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業を取り巻く経済情勢の変化や北陸新幹線県内延伸に対応するため、県内外の企業や有識者からの情報収集、意見交換を進め、I o T・A Iの普及による生産性向上や新しい産業の創出等を図る新たな経済戦略を策定します。 | <p>〔成果等〕目標を達成しました。</p> <p>福井経済新戦略の改訂については、10月と2月に、県内外の有識者で構成する「福井経済新戦略推進本部会議」を開催し、3つの基本戦略と15のプロジェクトからなる「福井経済新戦略（再改訂版）」を3月に公表しました。</p> |
| <p>◇地域ビジネスを積極的に応援</p> <p>○小さな企業の元気応援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模企業等の元気を生み出す事業計画の策定から実行まで一貫した支援を行い、北陸新幹線県内延伸などに対応するため、おもてなし産業の魅力向上や事業承継・生産性向上等の課題解決を図ります。 <p>チャレンジ施策 （平成29年度 累計6,205社）</p> <p style="text-align: center;">支援企業数 2,295社増 累計8,500社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくい産業支援センター嶺南サテライトオフィスを拠点に、嶺南地域の商工団体と連携して、経営指導から商品開発等の高度な専門的知識を要する相談対応まで、一貫した支援を行います。 <p>（平成29年度 累計537社）</p> <p style="text-align: center;">嶺南企業支援数 213社増 累計750社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内小売店等におけるクレジットカードや今夏、県内で利用が始まるI C O C Aなど電子マネーの利用環境の整備に向け、市町や商工団体等と連携して、導入費の助成や導入の効果を積極的にPRすることにより、県外や海外からの観光客等の消費拡大を促します。 <p>（平成29年度 94社）</p> <p style="text-align: center;">設置店舗数 250社</p> | <p>〔成果等〕目標を一部達成しませんでした。</p> <p>新たに北陸新幹線県内延伸等に向けたおもてなし産業の魅力向上や円滑な事業承継を促すための店舗改装・設備導入等を支援しました。</p> <p>また、福井国体にあわせた県内小売店・飲食店のPRや地域資源を活用した新商品開発など、企業のニーズに応じた幅広い支援を行いました。</p> <p style="text-align: center;">支援企業数 2,948社増 累計9,153社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくい産業支援センター嶺南サテライトオフィスに配置した専門コーディネーターが巡回訪問や経営相談を実施し、経営戦略や事業計画の策定支援、新商品開発・販路拡大支援など、嶺南企業の課題解決に向けた支援を行いました。 <p style="text-align: center;">嶺南企業支援数 285社増 累計822社</p> <p>商工団体や民間事業者と連携した説明会の開催や個別営業活動により、中小小売店舗等におけるキャッシュレス対応を促進しました。</p> <p>しかし、手数料等の維持経費の負担などから導入効果を見極めたい事業者が多く、目標にはいたりませんでした。</p> <p>今後は、全国的にキャッシュレス化のさらなる進展が見込まれることから、引き続き、キャッシュレス端末の導入効果を積極的にPRすることにより、中小小売店舗等の売上拡大を促進します。</p> <p style="text-align: center;">設置店舗数 117社</p> |

| 項 目 | 実 施 結 果 |
|---|---|
| <p>○中小企業者への金融支援</p> <p>・平成30年2月豪雪で被害を受けた中小企業者を対象とした利子・保証料補給制度など、セーフティネット資金を拡充します。さらに、事業承継を支援する前向き資金を4月に創設し、中小企業者の経営の安定と成長を促進します。</p> | <p>〔成果等〕目標を達成しました。</p> <p>平成30年2月豪雪で被害を受けた中小企業者の資金繰りを支援するため、中小企業緊急資金を創設し、523社に約100億円の融資を行い、経営の安定を図りました。</p> <p>また、前向き資金については、創業支援を含め158社に約13億円（平成31年2月末時点）の融資を行いました。</p> |
| <p>◇県・市町一体の企業誘致</p> <p>○本社機能の誘致と産業団地の整備促進</p> <p>・若者や女性に人気のある本社機能等の誘致に注力します。特にIT分野では都市部において、進出企業のネットワークを活用したセミナー開催を仕掛けるなど、サテライトオフィスの開設を支援します。</p> <p>（平成29年度 累計101社・11業種）</p> <p style="text-align: center;">立地企業数 30社増 累計131社</p> <p style="text-align: center;">立地企業の業種数 10業種</p> <p>・嶺南地域の産業団地については、敦賀市において敦賀市第2産業団地の造成工事を進め、今年度中の分譲開始を目指します。また、おおい町において、大飯高浜インター付近の調査を進め、平成34年度(2022年度)の分譲開始を目指します。</p> <p>・奥越地域の産業団地については、大野市の七板地区において、造成工事に着手し、平成32年度(2020年度)の分譲開始を目指します。</p> | <p>〔成果等〕目標を達成しました。</p> <p>副知事をトップに、東京や大阪の県外事務所や庁内の関係部局で構成する企業立地推進戦略本部のもと、市町や電力事業者等と連携しながら、年間801件（平成31年2月20日時点）の企業訪問を実施するとともに、11月の東京での企業役員等を対象とした立地セミナーにおいて、本県の立地環境をPRしました。</p> <p>加えて、IT企業を対象にしたセミナーを、東京や大阪などで計4回開催し、本社機能移転やサテライトオフィス進出を働きかけました。</p> <p>この結果、昨年は、テクノポート福井や越前市で大型投資が相次いだほか、鯖江市や大野市などでIT関連企業のサテライトオフィスが4社立地し、新增設あわせて、12業種、34社、投資額は過去最高の730億円を実現しました。</p> <p style="text-align: center;">立地企業数 34社増 累計135社</p> <p style="text-align: center;">立地企業の業種数 12業種</p> <p>敦賀市の第2産業団地については、12月に進出企業の公募が行われ、平成31年度当初に完了する一部区画の分譲が開始される予定です。</p> <p>また、おおい町の石山地区については、測量調査と基本設計が終了し、平成31年度は実施設計と用地取得を行われる予定です。</p> <p>引き続き、敦賀市・おおい町と連携しながら、計画どおり造成工事などを進めます。</p> <p>大野市の七板地区の産業団地については、平成30年度から2年間の計画で団地の造成工事が開始されました。</p> <p>交通利便性が高いことから、既に東海地方の企業から視察や問い合わせがありました。</p> <p>引き続き、大野市と連携しながら、計画どおり造成工事を進めます。</p> |

| 項 目 | 実 施 結 果 |
|--|---|
| <p>・テクノポート福井の産業用地拡充については、今年度から測量・設計に着手し、造成工事を進め、平成31年度(2019年度)の分譲開始を目指します。</p> | <p>テクノポート福井の産業用地拡充については、4月から測量・設計に着手し、2月に1期地区の造成工事を発注しました。平成31年度の分譲開始に向け、引き続き整備を進めます。</p> |
| <p>◇つかめ国内外のビジネス・チャンス 【部局連携】 ○国体・障スポ、オリンピック・パラリンピックを機にビジネス拡大 チャレンジ施策</p> <p>・国体・障スポ、東京オリ・パラに向け、Made in Fukuiの販路拡大を支援します。また、農林水産物を含め調達情報の収集や関係機関等への売込みを強化し、販売拡大につなげます。 (平成29年度 -)</p> <p style="text-align: right;">売上額 3億円</p> <p>・国体・障スポ期間中、プレミアムサービスを提供する県内小売・飲食店や福井の名物を買えるお店を紹介するアプリ「ふくい、幸(さち)サーチ」への参加店舗を拡大します。また、利用促進キャンペーンを実施し、店舗の魅力を広くPRすることにより、国体・障スポ参加者等の県内での消費拡大を図ります。 (平成29年度 300社)</p> <p style="text-align: right;">参加店舗数 200社増 累計500社</p> | <p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>県内企業5社に対し、高い発色性と伸縮性を持ったスポーツアンダー用素材など、スポーツ関連市場への販路開拓を支援しました。</p> <p>また、「東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」に対し、越前和紙など県産品の活用を働きかけるとともに、調達情報の収集を行いました。</p> <p>さらに、県内の伝統工芸事業者などを対象に、「東京2020ライセンスプログラム 伝統工芸品等の公式ライセンス商品化説明会」を開催しました。</p> <p style="text-align: right;">売上額 3億円</p> <p>国体会場周辺の店舗への呼びかけ等により、「ふくい、幸(さち)サーチ」登録店舗数の目標を達成し、全市町の飲食店等を紹介することができました。</p> <p>また、国体・障スポの選手・関係者および開会式観覧者に、アプリ掲載店舗で使用できるクーポン付きスクラッチくじを配布し、アプリのPRと掲載店舗の利用を促進しました。</p> <p style="text-align: right;">参加店舗数 208社増 累計508社</p> |

| 項 目 | 実 施 結 果 |
|---|---|
| <p>2 「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ</p> <p>◇「ふくい食ブランド」を地産・外商【部局連携】</p> <p>○首都圏における県産品の販路拡大</p> <p>・いちほまれなど福井のこだわり食材を使用した弁当など、新商品の開発・販売や、大手百貨店や企業内での大型の食の國福井フェアの開催、新たな営業担当職員の配置による販路開拓などによって、「ふくい南青山291」と「食の國 福井館」の売上拡大を図ります。</p> <p>(平成29年度 3.4億円)</p> <p style="text-align: center;">アンテナショップの売上額 4億円</p> <p>・スーパーマーケット・トレードショーなど県外の大規模小売展示会等への出店支援や、都市圏の食品バイヤー等による県内の企業訪問、商談会の開催等により、県産食品の新規取引を増やします。</p> <p>(平成29年度 6,136万円)</p> <p style="text-align: center;">県産食品の新規取引額 6,500万円</p> | <p>[成果等] 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>「ふくい南青山291」および「食の國 福井館」において、他県と連携したスタンプラリーの実施や、鯖江市フェアなど県内市町と連携した特産品の販売会などを実施しました。</p> <p>また、店舗外においても、伊勢丹新宿店などの百貨店やスーパー、都内の大手企業内において福井フェアを開催するなど、特産品の販売を通じて福井のPRを実施しました。</p> <p>この結果、両館の売上金額については前年度を3.2%上回りました。</p> <p>平成31年度は、新受託者のノウハウによる魅力ある売り場づくりやオリジナル商品の開発など新たな販路拡大により、集客増に取り組んでいきます。</p> <p style="text-align: center;">アンテナショップの売上額 3.5億円</p> <p>大都市圏を中心とする百貨店等のバイヤーを対象とした商談会を県内で開催するとともに、県内事業所の店舗・工場等を視察する産地ツアーを実施しました。</p> <p>また、「スーパーマーケット・トレードショー」や大手食品商社の商談会への出展支援により、23事業者において食品商社等との取引が拡大しました。</p> <p style="text-align: center;">県産食品の新規取引額 6,624万円</p> |

| 項 目 | 実 施 結 果 |
|--|---|
| <p>○東南アジア等への海外展開の支援</p> <p>・香港にアンテナショップを10月から12月までを目途に設置するほか、バンコクでの県内企業によるマーケティング調査や、浙江省との友好提携25周年を記念しての県産品PR、各国における商談会開催、海外事務所による現地情報の提供などを通し、県内企業の新規輸出、拠点開設を支援します。チャレンジ施策 (平成29年度 累計輸出134件、累計拠点 50件)</p> <p style="text-align: center;">アジアへの新規輸出 56件増 累計190件</p> <p style="text-align: center;">アジアへの拠点開設 17件増 累計 67件</p> <p>・県内大学や商工団体、福井県国際交流協会等とともに、留学生採用に役立つセミナーや留学生向けの合同企業説明会を4月に開催するほか、随時、個別企業への訪問説明会等を実施し、県内企業による留学生採用を支援します。 (平成29年度 10人)</p> <p style="text-align: center;">県内企業による留学生採用数 10人</p> | <p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>海外事務所を中心に、海外拠点開設や販路開拓等に関する県内企業からの相談1, 827件に対応しました。</p> <p>10月から12月の約3か月間、香港の商業施設内にアンテナショップを設置し、観光PRと県産品の販売を実施するとともに、浙江省においても友好提携25周年を記念して、浙江省内のショッピングモールで物産展(11月)を開催しました。</p> <p>また、香港(10月)、バンコク(11月)において県産食品・工芸品の商談会を開催し、県内企業延べ45社が出展して、約560件の商談が行われました。</p> <p>そのほか、国際食品見本市(フード台北:台湾、フードエキスポ:香港、フードジャパン:シンガポール)に福井県ブースを設け、延べ12社の出展を支援したほか、シンガポール、中国、台湾、タイ等から企業を招聘し、県内企業との商談会を開催しました。</p> <p style="text-align: center;">アジアへの新規輸出 59件増 累計193件</p> <p style="text-align: center;">アジアへの拠点開設 17件増 累計 67件</p> <p>福井県国際交流協会等と協力し、4月に県内企業向けに留学生の採用に伴う在留資格手続きや人材活用方法などに関するセミナーを開催し、34社・団体が参加しました。</p> <p>また、4月に留学生向けに県内企業との事業内容に関する説明会を開催し、52名の留学生等と26社の企業が参加したほか、1月、2月にそれぞれ、留学生向けの業界・企業研究会を開催しました。</p> <p style="text-align: center;">県内企業による留学生採用数 18人</p> |

| 項 目 | 実 施 結 果 |
|---|--|
| <p>3 人口減少に歯止めをかける徹底戦略</p> <p>◇幸福日本一福井へ 移住・定住戦略【部局連携】</p> <p>○女性・若者に活躍の場・しごと創造</p> <p>・女性向け創業セミナーや先輩起業家との交流会、投資家等に向けたビジネスプラン発表会の開催により、起業や事業拡大を支援します。また、新たに学生の斬新なアイデアを活かした起業を促進するため、産業情報センターのインキュベート施設への入居費や会社設立経費を支援し、若者のビジネスチャレンジを応援します。</p> <p>チャレンジ施策 (平成29年度 累計292件)</p> <p style="text-align: center;">県の支援による創業数 108件増 累計400件</p> | <p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>中小企業診断士による女性専用の創業相談を実施するとともに、先輩起業家からアドバイスを聞くセミナーやビジネスプランの見直しを図る創業塾の開催、創業マネージャーによる事業計画の作成支援や販路拡大等の相談対応など、伴走型の支援を行いました。</p> <p>また、成長意欲の高い起業家が投資家に向けてビジネスプランを発表する「福井ベンチャーピッチ」を福井と東京で開催し、事業拡大に向けたビジネスパートナーの獲得を支援しました。</p> <p>さらに、創業に必要な経費の助成など、資金面で支援するとともに、今年度から新たに学生等の斬新なアイデアを活かした起業の支援制度を設け、2件の学生のビジネスチャレンジを支援しました。</p> <p style="text-align: center;">県の支援による創業数 113件増 累計405件</p> |
| <p>○地場産業の宝庫・福井でチャレンジの夢ひらく</p> <p>・人材確保支援センターの人材ニーズに関する情報を活用し、提携先の人材紹介会社によるヘッドハンティングなどを支援することにより、都市圏からの高度な技術やマネジメント能力を有する人材のU・Iターン就職を促進します。</p> <p>(平成29年度 累計57人)</p> <p style="text-align: center;">産業人材確保数 30人増 累計87人</p> | <p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>県内外の人材紹介会社16社と連携し、都市部の産業人材に県内企業へのU・Iターン就職を呼びかけました。</p> <p>また、合同企業説明会の場を活用し、求人を出している県内企業に対して、人材紹介会社の活用を働きかけることにより、32人のU・Iターン就職につなげました。</p> <p style="text-align: center;">産業人材確保数 32人増 累計89人</p> |

| 項目 | 実施結果 |
|---|---|
| <p>◇女性の元気が福井の元気 ○女性が活躍できる職場環境づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業向け事業説明会の開催・企業訪問を通じ、育児に加えて介護と仕事の両立を実現する短時間勤務制度や離職女性の再雇用制度など、女性が働きやすい社内制度の導入を促進します。 (平成29年度 累計84社) <p style="text-align: center;">導入企業数 36社増 累計120社</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て・介護との両立支援制度、有給休暇取得率、早期離職率など、働きやすさを総合的に評価する調査を実施し、高評価の企業を誰もが働きやすい企業として表彰することにより、職場環境改善を促進します。 | <p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>県や労働局が主催・共催するセミナーにおいて事業を周知し、県内企業に短時間勤務など働きやすい社内制度の導入を働きかけました。 また、子育て支援に積極的な企業など県内195社に対して電話、訪問等を行い、38社が働きやすい社内制度を導入しました。</p> <p style="text-align: center;">導入企業数 38社増 累計122社</p> <p>県内企業約2,000社に対し、有給休暇取得率や早期離職率など、働きやすさを総合的に評価するための書面調査を実施するとともに、調査結果が上位の企業に対し、現地調査を行いました。 その結果、3社に「働きやすい福井企業大賞」を授与しました。</p> |
| <p>4 福井から人材育成 ◇産業人材の育成・誘致システム ○中小企業産業大学校、産業技術専門学院の革新</p> <ul style="list-style-type: none"> 中小企業産業大学校において、産業技術専門学院の指導員や施設・設備等を活用した連携講座やオーダーメイド研修を実施し、産業人材育成機関としての機能を強化します。 | <p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>中小企業産業大学校において、産業技術専門学院の指導員や施設・設備等を活用した5つの連携講座を開講し、171名が参加しました。 また、園芸カレッジや林業カレッジの塾生を対象とした2つのオーダーメイド研修を新たに実施し、25人が参加するなど、受講者層の拡大を図りました。</p> |
| <p>5 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献 ◇みずから伸ばす「健康寿命」 ○健康長寿もうひと働き</p> <ul style="list-style-type: none"> 「シニア人材活躍支援センター」における専門的な技術や経験を持つシニア人材と県内企業とのマッチングや、人材確保支援センターと連携した、企業の職場環境改善への支援により、シニアの就職者を増やします。 (平成29年度 累計104人) <p style="text-align: center;">シニア人材マッチング数 46人増 累計150人</p> | <p>[成果等] 目標を達成しました。</p> <p>「シニア人材活躍支援センター」の就職コーディネーターが県内企業を訪問し、105社から238人の求人を開拓しました。 また、シニア人材向け説明会を開催し、177人の求職登録につなげるなど、積極的に求人・求職の情報収集を行いました。 これらの情報に基づき、就職コーディネーターが雇用条件等の調整を行い、57人の就業につなげました。</p> <p style="text-align: center;">シニア人材マッチング数 57人増 累計161人</p> |

| 項目 | 実施結果 |
|--|--|
| <p>6 美しい県土、楽しく便利なまちの形成</p> <p>◇道路・港湾の重点整備と利用促進【部局連携】</p> <p>○敦賀港・福井港の利用促進</p> <p>・大口荷主企業のセールスを強め、地元市や船会社、敦賀港国際ターミナル(株)との共同営業を行うことにより、新たな利用貨物の獲得やBCPの観点から他港からの利用転換を促進します。 (平成29年 敦賀港 28,351TEU) 福井港 71.3万トン)</p> <p>敦賀港外貿コンテナの取扱貨物量 30,000TEU</p> <p>福井港の取扱貨物量 (石油製品・重油を除く) 70万トン</p> | <p>[成果等] 目標を一部達成しませんでした。</p> <p>敦賀港・福井港の取扱貨物量の増加に向け、荷主企業を中心に年間700件を超える営業訪問に加え、大阪において過去最多となる97社、176名の荷主企業や物流関係者などが参加したセミナーを開催するなど、精力的なポートセールスを行いました。</p> <p>この結果、福井港の取扱貨物量はセメントや化学薬品の移入などが増加したことから、目標を上回って達成しました。</p> <p>敦賀港については、他港から切り替えを行うなど複数の大口荷主が取扱量を増やしているものの、大手企業の事業再編により県内事業所が閉鎖されたことなどから、目標達成にはいたりませんでした。</p> <p>今後、新たに開設される博多航路の活用など、集荷のためのポートセールス活動を積極的に進めます。</p> <p>敦賀港外貿コンテナの取扱貨物量 27,711TEU</p> <p>福井港の取扱貨物量 (石油製品・重油を除く) 89.2万トン</p> |
| <p>○クルーズ客船の誘致・受入</p> <p>・海外クルーズ客船寄港時には、滋賀県と連携し、おもてなしを充実するほか、海外での展示会への出展、寄港地決定に影響力を持つ運航責任者等の招へいなど、地元市の行うクルーズ客船誘致活動に対する支援を強化し、継続寄港を促します。 (平成29年 5回)</p> <p>寄港決定回数 5回</p> | <p>[成果等] 目標を上回って達成しました。</p> <p>4月に、2年連続3回目となる海外大型クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」を敦賀市とともに受け入れました。イギリスやアメリカ、オーストラリアを中心とした2,700名を超える乗客や見学に訪れた2,500名余りの方々により、平日にも関わらず港周辺は大いに賑わいました。</p> <p>また、岸壁での観光案内、物産販売に加え、今回から滋賀県と連携し、彦根城や長浜を巡るツアー催行により乗客をもてなしました。</p> <p>クルーズ客船誘致活動については、地元市と連携・協力しながら国内外の船社や旅行会社など約100社への営業訪問や海外クルーズ見本市への出展などにより、県内港湾や周辺の魅力的な観光コースを売り込みました。</p> <p>こうした活動により、平成31年、福井港には6年ぶりの「ばしふいっくびいなす」の寄港が決定したことに加え、敦賀港には国内船が4回、海外船が1回寄港することとなり、さらに、今年の2月に平成32年の「ダイヤモンド・プリンセス」の4回の寄港が発表されました。</p> <p>寄港決定回数 10回</p> |

【実施結果の区分】

- ・目標を上回って達成しました。(例:成果が目標を概ね2割超えて達成されたもの)
- ・目標を達成しました。(例:成果が目標どおり達成されたもの)
- ・目標を一部達成しませんでした。(例:成果の一部が目標に及ばなかったもの)
- ・目標にはいたりませんでした。(例:成果が目標に及ばなかったもの)
- ・引き続き実施します。(例:成果を上げるためには年度を超えて実行する必要があるもの)